

R-18

ADULT  
ONLY

泣き虫メカニツク開発  
制圧せし氷の霸王飼育  
日誌

氷の霸王飼育編



一目  
今回の「対象」の一人は  
尊大な態度と獣の様な  
警戒心を此方に向けてきた

貴様……一体  
どういう魂胆だ？

この制圧せし氷の霸王を  
封じて何とする？

もう一つ  
我が破壊神  
暗黒四天王を  
何処へやった

ああ 君のペット  
には手を出して  
いないから安心して

私の仕事はね君の体に  
君の知らない事を

たっぷり教えて  
あげる事だから

ず

みみみ



二日目  
暴力的な抵抗をされた為  
少々お仕置きを施した  
もう一人の対象とは違い  
彼は不快感を露わにする  
ばかりであった

ググググ

くっ……!

少しは立場が  
分かったかな?

ゴ  
ワ  
ワ  
レ  
ク  
ク  
ク……

ギョ  
ウ  
ウ

ギョ  
ウ  
ウ

はっ!この程度の  
責苦で俺様を屈服  
させる気か?

力を解放する  
までもないわ!!

ふん?

俺様に触るな  
下衆が……!!

少々責め方の変更を  
検討する必要がある



君の事は色々調べてあるんだ……自称霸王だとか悪魔と人間のハーフだとか

その霸王様がこんな格好してていいの？ふしだらだなあ

それとも霸王様ならチンポずっと勃起してても平気かな？

あ 悪魔の子だもんね寧ろ厭らしい事が大好きな淫乱なんだね

三日目彼はプライドの高い部類であるようだ

なので大仰な口を塞ぎ羞恥心を煽る格好や言葉を選び心身共に貴め立てる事にした

昨日とは一転して焦燥した表情を見せた





ブルブルブルブル

ビクビク



ビクビク

四日目  
一晩陰茎を締め付け  
貴苦を与えていたのを  
解放してやった  
充分に堪えたようだ

一杯出たね  
どう気分は？  
言ってご覧？

だが未だに軋が  
足りないようなので

今すぐにも…  
消炭に……ッ!!

ツッ…  
黙ッれ…!

ッッッ

ビクビク







まず手で相手を  
気持ちよく  
させてみようね

いきなり口で  
しなくていい  
からね

五日目  
二日間強烈に責め立てたお陰で  
彼はとても恭順になった  
性的快感が体に染みついて  
精子の雄臭にまでも反応する  
程になった

ほら  
上手にフェラチオ  
できたご褒美だよ

ゴックン  
ゴックン

ググググ  
ググググ  
ググググ

カチッ

あっ...!!

はげし...

あんな...

ぐんぐん  
ぐんぐん  
ぐんぐん

ゴックン  
ゴックン  
ゴックン

ゴブゴブ  
ゴブゴブ  
ゴブゴブ

貴様...俺様にどんな  
術式を施した...??

何故この臭気に  
幻惑の魔力を  
感じるのだ...?

おお...そう  
先端やカリ首  
裏筋と責めて  
みて??

ゴックン  
ゴックン

ゴックン  
ゴックン  
ゴックン



六日目  
拘束具の着け直しをした際に抵抗を受けた

マウントポジションを取った彼はあろう事か私の陰茎を自らのアヌスに宛がったのだ



待て待て

本番なら明日  
幾らでも  
やらせてやる

「客」を  
相手にな

客……  
だと……？

幸い未遂に終わったが  
その様は雌犬の如き女王様か  
女王を装った雌犬かといった  
いやらしさがあった

但し  
たっぶり  
お仕置き  
してからだ







貴様の精力……  
こんなものでは  
ないだろう？

幾度でも解放  
してみせろ……！  
我が胎内にな……！



ブツブツ  
ブツブツ  
ブツブツ

田中君の  
ピストン  
激しく  
凄くイイ  
よ！

出る！また中に  
出すよ！お腹の中  
精子でパンパンに  
してあげるね！

ゴポッ

ドブツドブツ

七日目  
「客」を散々に捌り 捌られ  
すっかり雌犬となった彼の  
体を清め学園に帰してやった  
これで私の今回の  
仕事は終わりだ



泣き虫メカニック開発  
制圧せし氷の霸王飼育  
日誌

メカニック開発編

R-18  
ADULT ONLY



一日目  
今回の「対象」の一人は  
非常に小心者のようだ  
拘束すらしていないのに  
部屋の隅で縮こまっている



大丈夫  
痛い事は  
何もない  
から

君は若いん  
だからさ



ひっ...!!

こつち来んじや  
ねえよ.....!!

気持ちイイ事  
だけ感じて  
いいんだよ







二日目  
一通り全身の開発を始める  
反応は大きく 甘い

クソッ!  
やめろよ  
変態!!

今後に期待が  
持てる



力抜いてね  
痛いのは  
嫌でしょ?



ほら ここも  
ほぐすからね



薬が漏れないように  
栓もしておくからね





三日目  
対象は早速快感を得ようと  
自ら尻穴を弄りだした  
堕ちるのは時間の問題だろう

自分でお尻弄ってたの？  
栓も抜いちちゃって……

ちっ  
違っ……!!



仕方ねーだろ！

テメエが  
何か塗  
りつけた  
から……  
痒くて……!!

ドコが気持ち  
良かった？  
ほら教えてよ

へえ？





私の仕事はね  
こうやって  
気持ちいい事を  
教える事なんだ

だから私に  
大人しく  
従っていけば  
すぐ帰れる  
からね

それ……  
帰れるって  
本当だよな  
……?

四日目  
徹底的にアナル開発を行う  
時間をかけて肛門を暴き  
前立腺に刺激を与え続けた

開発に時間のかかる筈の  
前立腺でも既に感じるように  
なったらしく、こういった  
行為への才能を彼から感じた

うん よく  
拡張されて  
いつてるね







五日目  
彼はよく指示に従って、  
鋭利な歯がなるべく陰茎に  
フェラチオの仕方を教え込んだ

歯を立てないように  
しゃぶって？  
そう 気を付けて

フツ  
フツ

んぐっ

んぐっ

んぐっ



んぐっ

いいかな？まず  
舌と唇を使ってね

んぐっ



うえっ…  
まず…

ポッ

ハッ  
ハッ

トロ…

頑張って精液も  
飲めるようになろうね  
ほら飲み込んで

んぐっ



じゃあちよつと  
一番奥まで  
挿入れるからね

んぐっ

ほら 喉奥を  
締めるように  
動かしてみて

んぐっ

んぐっ

んぐっ

んぐっ

んぐっ



六日目  
驚く程彼は順応性が高い  
体はすっかり男を悦ばせるに  
足る玩具と成り果てた

特に今日見せた反応は  
私にとって最高の成果を  
出せた事の表れと言えた





七日目  
これは彼にとっての  
初めての売春行為であり

私の仕事  
が成功した事  
の証明でも  
あった

ドキ

ドキドキ

君が  
和一君?

はい……

ビク  
ビク  
ビク  
ビク

初めてなんで  
……その

ズクズクズクズク

優しくして  
下さい……♡

へえ?  
初めて?  
なのにケツマン  
ゆるゆるで

美味しそうにチンポ  
しゃぶるんだねえ?

ちゅちゅちゅちゅ













私にはあまりにも容易に  
想像がつくことだった

発行サークル: 痴迷扇  
発行者: 赤兵衛  
発行日: 2013年12月30日  
印刷: (株)栄光 様  
E-mail: black-walts.pangtong  
@hotmail.co.jp  
pixivID: 809061  
twitter: @Cactus\_Jizo



